

3D都市モデルの可能性を引き出す開発コンテスト 「PLATEAU AWARD 2025」ファイナリスト10作品決定

まだ見ぬサービスやビジネス、未来の都市を創るソフトウェアを開発
最終審査会を2月14日にハイブリッド形式で開催、視聴申し込み受付中

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：垣貫真和）は、国土交通省が開催する3D都市モデルを活用した開発コンテスト「PLATEAU AWARD（プラトーアワード）2025」の最終審査会に進出する10作品が決定したことをお知らせします。

2026年2月14日（土）に開催する最終審査会では、10作品の応募者による公開プレゼンテーション審査を行い、グランプリを始めとする各受賞者を発表・表彰します。

本アワードは、国土交通省が推進する都市デジタルツインの社会実装プロジェクト「Project PLATEAU（プラトー）」の一環として開催し、角川アスキー総合研究所は運営事務局を務めます。



■PLATEAU AWARDとは

国土交通省では、2020年度からProject PLATEAUとして、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化の取組みをスタートし、さまざまな領域における新たなサービスやイノベーションの創出を進めています。

PLATEAU AWARDは、オープンデータである3D都市モデルのまだ見ぬ可能性を引き出すために、国土交通省がProject PLATEAUの一環として開催する3D都市モデルの開発コンテストです。

4年目となる本年度は、学生、エンジニア、クリエイターなどさまざまな応募者から、サービス、ツール、アートなど50作品以上の応募がありました。2025年12月6日・7日で開催した一次審査会で、最終審査会に進む10作品を決定しました。

■最終審査会について

名称：PLATEAU AWARD 2025 最終審査会

日時：2026年2月14日（土） 13:30～17:30

会場：TUNNEL TOKYO

東京都品川区西品川一丁目1-1 住友不動産大崎ガーデンタワー9階

※JR・りんかい線 大崎駅 南口 徒歩6分

主催：国土交通省 Project PLATEAU

運営：角川アスキー総合研究所（ASCII STARTUP）

審査員（順不同）：

- ・齋藤 精一氏（パノラマティクス 主宰）
- ・川田 十夢氏（開発者 / AR 三兄弟 長男）
- ・千代田 まどか氏：ちょまど（IT エンジニア兼漫画家）
- ・小林 巍生氏（Code for YOKOHAMA 共同代表）
- ・野見山 真人氏（Takram デザインエンジニア）
- ・国土交通省 都市局 国際・デジタル政策課（Project PLATEAU チーム）

最終審査会は一般観覧を募集しております
会場参加・オンライン視聴ともに以下ページよりお申し込みください（無料）

►お申し込みページ（connpass）◀

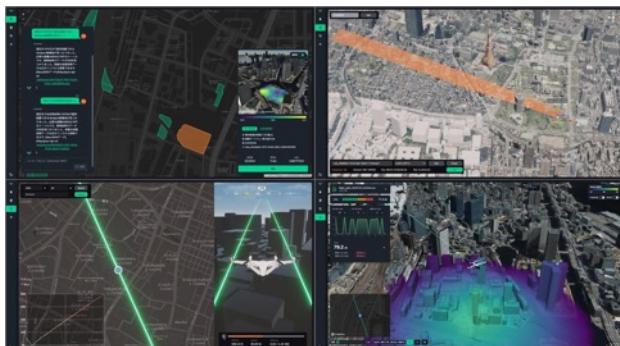
<https://asciistartup.connpass.com/event/375305/>

■ファイナリスト 10 作品

最終選考会に進む 10 作品は PLATEAU AWARD 公式サイトで公開しております。

►PLATEAU AWARD 公式サイト：<https://www.mlit.go.jp/plateau-next/award/>

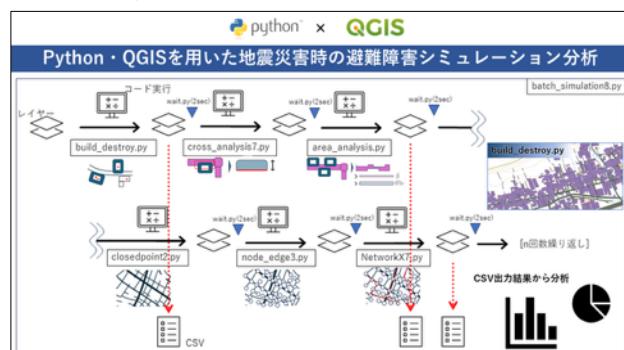
※以下応募者名／作品名



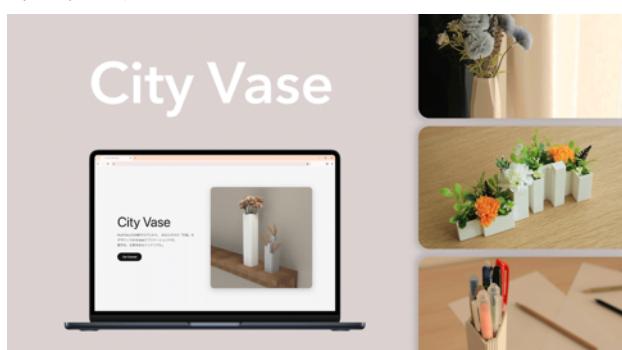
SORAMO/VP Studio



鈴木裕之/PLATEAU-2D



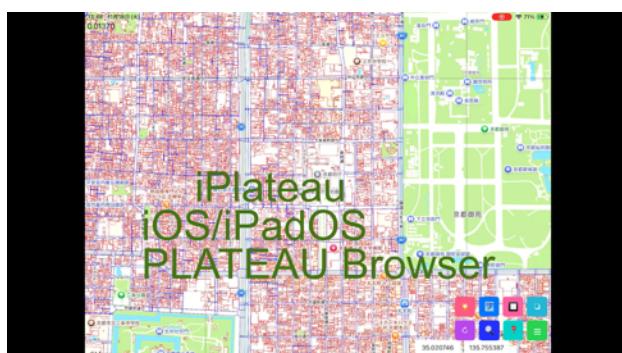
Nakamura Yoshiyuki/Python · QGIS を用いた地震災害時の避難障害シミュレーション分析



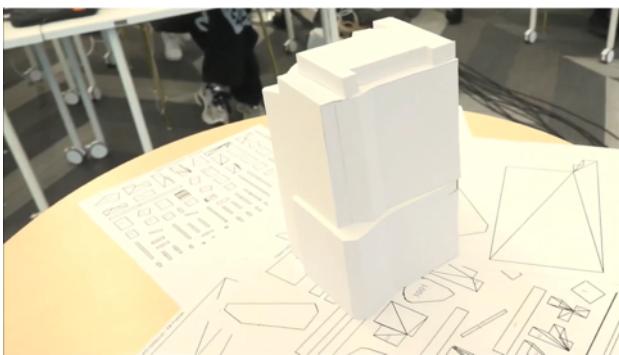
下野明佳里/City Vase



株式会社 ozora /GlobeXplore Pro



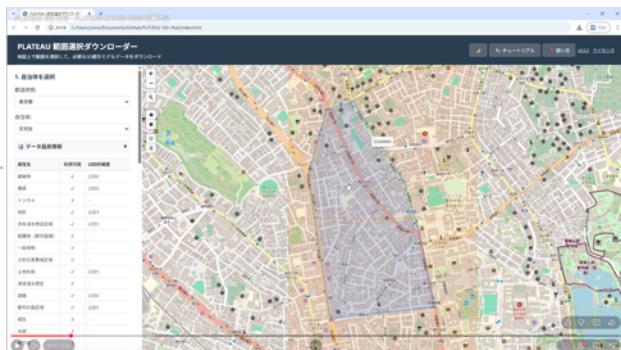
StudioAnsh/iPlateau



宮崎航大／Paper CAD



兵庫県立大学 大学院工学研究科 視覚メディア工学
研究グループ／PLATEAU を利用した VR 緊急走行シミ
ュレータの開発と一般市民教育への展開



能祖遙一・吉田翼（東京大学大学院）／PLATEAU
GIS Hub



武井陽靜／簡単！軽くてカラフルな Voxelized
Game Engine

■PLATEAU AWARD 2025 概要

主 催：国土交通省 Project PLATEAU

募集期間：2025年8月29日（金）～2025年11月20日（木）

募集内容：

- PLATEAU が提供する 3D 都市モデルを利用したものであれば、作品のジャンルは問いません。
- <例>
- (1) 商用サービスやエンターテインメント系のアプリ
 - (2) 動画やゲームなどのコンテンツやアート作品
 - (3) 都市開発などを目的としたシミュレーションや可視化ツールなどの政策活用ツール
 - (4) データ変換ソフトウェアなどの 3D 都市モデルの利便性を向上させるサポートツール
 - ・・・など、あらゆるタイプの作品が対象。

募集対象：

- 個人または企業、教育機関・研究機関、行政機関、その他団体等のチーム。チーム内のメンバー数や 年齢等の制限は一切ありません。

※未成年の場合は、保護者の同意のうえでご応募ください。

審査基準：以下の 5 つの観点から評価

- (1) 3D 都市モデルの活用 (2) アイデア (3) UI・UX・デザイン (4) 技術力 (5) 実用性

賞 金：

- ・グランプリ 1 作品は賞金 100 万円ほか、総額 200 万円（部門賞には学生部門を含む）

* 詳細については公式サイトをご覧ください

►PLATEAU AWARD 公式サイト：<https://www.mlit.go.jp/plateau-next/award/>

■Project PLATEAUについて

Project PLATEAU はスマートシティをはじめとした「まちづくりのデジタル・トランスフォーメーション」を進めるため、そのデジタル・インフラとなる 3D 都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を推進するプロジェクトです。

2025 年度も引き続き、3D 都市モデルの整備・活用・オープンデータ化のエコシステムの構築に向け、更なる取組みの深化を図っていきます。

具体的には、データカバレッジの拡大、ユースケースの開発・社会実装、3D 都市モデルの活用コミュニティの形成、オープン・イノベーション創出、3D 都市モデルの整備・活用に係るエコシステムの構築等のテーマのもとに、約 30 件のプロジェクトを採択しました。地方公共団体は 52 事業・約 80 都市約 60 団体が参画し、データ整備範囲は約 300 都市に拡大する予定です。

▶公式サイト：<https://www.mlit.go.jp/plateau/>

■PLATEAU NEXTについて

PLATEAU NEXT では、本年度の「Project PLATEAU」で実施するイベントなどの取り組みをご紹介しております。

AWARD の応募について参考となるライトニングトークやハンズオン、アイデアソンやハッカソンなど各種開発イベントを開催します。PLATEAU にご興味がある方は開発未経験者でも参加できるイベントとなっておりますのでぜひ PLATEAU NEXT サイトをご覧ください。

▶公式サイト：<https://www.mlit.go.jp/plateau-next/>

■株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、メディア運営やコンテンツ制作で培った知見を活かし、調査、コンサルティング、マーケティング、ビジネスソリューション、出版、教育支援など幅広く事業を展開しています。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力を総合的に活用し、お客様の課題解決に取り組みます。

▶公式サイト：<https://www.lab-kadokawa.com/>

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】

株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当 堀

press-cp@lab-kadokawa.com